

第213号

2026年9月22日発行

発行者 日本共産党利島支部
笹岡 寿一

〒100-0301

東京都利島村850番地

電話 04992-9-0191

Fax 04992-9-0241

メール: to_sasaoka@

sea.plala.or.jp

あしたば

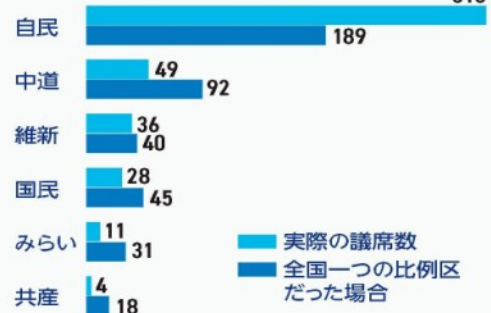
日本共産党利島支部機関紙

<知は力> 豊富な内容と真実を伝える
「しんぶん赤旗」日曜版をご購読下さい[月990円]村の政治は村の人々の為に
あります。皆さんのご要望・
ご意見などお寄せ下さい！衆院比例45議席の**削減**
国民の声切りすて、
与党独裁がネライ比例削減は、数の力で
与党の政策をおしつけるため

4割台の得票で8割以上の議席を独占できる小選挙区制部分は温存し、比例代表だけを削るのはなぜ？ 小選挙区で有利な与党の議席をふやし、数の力で自分たちの政策を国民におしつけるためです。多様な国民の声を無視し、民主主義をこわす暴走であり、絶対に許すわけにはいきません。

2026年総選挙
小選挙区で自民党は得票率
49%議席
占有率
86%与党の横暴に、
野党が共同して対抗

はじめから「比例45削減」という結論ありきの法案おしつけは、議論で一致点をみいだそうという民主主義のルールを乱暴にふみにじるものです。与党の横暴に対し野党が結束して抵抗するのは当然のことではないでしょうか。

2026年総選挙を
全国一つの比例区にすると自由と民主主義を
まもれ！ あなたも声を
あげてください

日本共産党



ささ おか とし かず
笹岡 寿一の

議会視聴記



2026年度・第3回定例村議会は、9月8日(火)に開会しました。会期は11日(金)迄の4日間としました。実際には、10日の午前11時半に閉会しています。行政報告と議員の一般質問の内、「住民の皆さんに直接的に関係がある」と思われる事項の要旨をお知らせします。

今議会では、高田議員の一般質問はありませんでした。

議案は、7年度各会計決算認定案件8件、7年度公営企業会計決算認定案件1件、報告案件1件、8年度各会計補正予算案件4件、人事案件1件、契約案件1件の報告案件を除く、計16案件です。

全て原案通り認定、可決、同意、又は承認されました。

今議会でも中継機器の不具合があり、発行が遅くなりました。住民から「議会での発言が殆ど聞き取れない人もいます。ワイヤレスピンマイクを襟元に装着したらどうか」と云った提案があります。検討しませんか。

9月議会で話し 合われた内容です

行政報告

令和8年度子ども体験塾

榎本総務課長「本事業は、子どもたちに普段の生活では得られない様々な体験や交流の機会を提供することを目的として、

子ども体験塾実行委員会が企画して運営しています。

夏季休業中に「利島サマースクール」、及び「島しょ子ども感動体験事業」の2つの事業を実施しました。

子どもたちが地域や学校の枠を越えて交流し、様々な体験を通して主体性や協調性を育むこ



とができるよう、今後も子どもたちの体験と交流機会の充実に努めてまいります。

体育館の照明 設備改修工事

三宅教育長「体育館のLED照明設備改修により、器具の軽量化に伴う耐震化で、災害時等にも安全に避難できる拠点が整備されました。同時に照度の向上や即時点灯、電気料金の抑制と、長寿命化に伴うメンテナンス費用の削減が図られました。

一般質問

見出しは箇岡

乳がん検診、及び女性健康 支援体制の拡充

石野議員「マンモグラフィ検診受診の際の交通費、検診費用に対する助成制度の早期創設に対する考えを伺います。

榎本住民課長「現在の検診制度との役割分担を整理しつつ、マンモグラフィ受診の機会を確保する方法を検討してみます。

有害虫薬剤散布

「あしたば」4頁発行のお知らせ

日本共産党の利島支部が出来て5年余りが過ぎました。支部では、この53年間、定例村議会毎に欠かさず事なく、利島支部の機関紙「あしたば」を8頁(時には12頁)で発行して、住民の皆さんに、「村政の動き」の要旨をお知らせして参りました。(時局によって、臨時号も発行)それが、今日の異常な物価高騰の中で印刷費も、その影響を受けざるを得ない厳しい事情になってきました。

その為止む無く、「あしたば」は本号から議員、行政職員及び、行政委員、参考人等の議会での発言は、要旨を簡潔に編集して、4頁での発行とさせて頂きます。

寿一

利島島の情報

石野議員「就航問い合わせ自動システム電話料金の無料化について、村の認識を伺います。

隅産業観光課長「できる限り住民の負担を軽減できるようなサービスを検討します。

お料金の「住民負担の軽減」と云っても、住民が否かを識別する電話機があると良いですよネ?

お以外には、どんなサービスが考えられますでしょうか。||笹岡||

石野議員「チャドクガの発生状況を受けて、散布個所の可否についての対応を伺います。隅産業観光課長「飲料水水源域では散布を控えました。生活圏内は、要望のあった箇所を手動ポンプで散布しました。

防災計画の見直し

石野議員】防災計画の課題と計画の変更を伺います。
荻野調整担当課長 来年1、2月頃に防災会議で素案をまとめ、3月に決定します。

焼却施設

井口議員】入札が不調になった場合の対応策を伺います。
村山村長 この場で先々の事を申し上げることは控えます。計画どおりに工事を着手できるように調整しています。

本件は、前議会からの継続的な案件です。前議会では、焼却施設の建設計画に伴い、焼却では、新潟県の村の施設を、焼却しない事では、徳島県の町を、双方共に村長同行で視察しています。

徳島県の町では「焼却ゴミの極一部は埋めているが、殆どは町外に搬出している」との事でした。

条件に合う委託先があれば、島外への搬出についても、島内に於ける焼却処理費との比較なども含めて、必要な議会共に再度現地調査もして、検討するのの一考ではないでしょうか。Ⅱ笹岡

草木の持ち込み

井口議員】地震が沢の草木の投棄場の現状を何時まで放置しておく考えですか。
村山村長 解決策を探しています。

この直後、質問の「効」在ってか？整備されていました。Ⅱ笹岡

株利島の条件付き運行情報

井口議員】住民から「海が穏やかなのに、何故条件付きなのか」という声があります。対応を伺います。
村山村長 住民からの意見がある事は承知しています。
(株利島に伝えることにします。



学校給食の停止

木村議員】9月から「給食が提供できなくなる」との事ですが、提供が困難となった要因、及び再発防止策を伺います。
三室教育長 要因としては、給食調理員の補充が「容易でない」と云う現実があります。
対応策としては、持続可能な学校給食の運営体制の構築に全力を尽くしてまいります。



由々しき事態です。
要因は把握されているようです。10月からは、1名の応募があるようですが、要員は、何名要するのでしょうか。

早期に必要なとする職員数の確保を図り、現場職員の声を聴くなど、常に実態を掌握して、働く人の処遇など、環境の構築によって「安定した給食体制の継続に努められたい」と思います。Ⅱ笹岡

椿林の茶毒蛾被害

木村議員】被害が繰り返されると、木の衰弱に繋がります。対応を伺います。
隅産業観光課長 住民の健康被害の防止と椿山の保全の両面に配慮しながら、状況に応じた対応に努めてまいります。

散歩アプリ

樹木医の話では、「3年食害が続くと殆どの樹木は枯死する」と云っています。Ⅱ笹岡
木村議員】今後の計画をお示し下さい。
榎本住民課長】日常的に歩くことや運動することへの意識につながるよう、取組を進めていきたいと考えています。



東海汽船の不適切事案

大磯議員】対応策を伺います。

村山村長は、本事案は「現状での答弁は慎重を要する」と述べて、経過のみ報告していました。
経過は、既にマスコミで大きく報道されていますので割愛します。
この後、大磯議員からは「AIの活用、公共事業に係る地方債、公共施設の管理」に関する質問が続きました。何れも行政内部の事務案件であり割愛します。Ⅱ笹岡

久保里山第二住宅

大磯議員】湿気など、利島特有の気候・環境にどう設計に反映されているか伺います。
前田環境建設主幹】一般的な木造住宅に比べ断熱性が高く、結露の発生リスクを通常より抑え易くなっています。

各議案は割愛します。
但し、7年度各会計決算認定に伴う監査意見書の内、3人の議員質問で話題となった空家修理事費に対する、補助金交付執行に関する審議内容は、次回12月号に掲載します。春一

投稿文書要旨 表題 **【村民不在】** 利島農業協同組合 組合長 柴田 敦史
 投稿文、及び村長の返信文の全文は、村山村長のブログをご覧ください。

議会で中継は流れず、議案は役場のHPには記載されず、村民は議会で何を話されてるか知る由がありません。「議会の事なんて村民は知らなくていい事」で議会と執行部で決めるのを「黙って従え」ってことなんですか？

村民置いてきぼりなのが、村長の目指す「住民参加型の利島村」なんですか？

あまりの後退ぶりに笑ってしまいます。そこらへん、議員のみなさんも鈍感なので胸中は複雑です。

昔は出来ていたことが出来なくなる・知ることが出来たことが知れなくなる事の重大さを執行部や職員は、もつと考えた方がいいのでは？と思います。村民は、そう言うことに接する度に無力感や疎外感を感じます。

役場の仕事ぶりに対しても仕事のスピード感に乏しいし、単純なミスが多い、ビジョンに欠ける等々、みんな役場に対してストレスを抱えながらお付き合いをします。もちろん、中にはそうでない職員もいます。人事異動するなら、きっちり最低限の引き継ぎをして、周りに「迷惑かけるなよ」とも言いたいです。

この状況で村長の「職員はよくやっていると」の発言は、正直なんだかな〜？と思つてます。

村長の認識と実際仕事で関わっている人間の認識の乖離が以前より激しくなっているのを書いていきます。村長自身「みんなよくやっていると、パフォーマンスが低いのは何でなんだ？」と考えることはないのですか？

役場と云う組織に問題があるから総じて「職員のパフォーマンスが低い」と個人的に思っています。「よくやっていると認めてつも」問題はない

か」と疑うのがトップの仕事ではないですか？

職員たちは民間人より、総じて学歴もあるし、給料もいいし、皆一人一人は付き合うと良い人で真面目なのに、どうして「全体のパフォーマンスが低いんだ？」と考えてしまいます。

村長の「職員は、よくやっていると」発言が、思考停止を生んでいますので、組織のマネジメントにもう少し厳しい目を向けて頂きたいと思います。問題なのは、職員ではなくて「役場」と云う組織の在り方です。

職員のパフォーマンスが上がれば、「この村はもつと良くなる」と私は信じていますので、あえて厳しい事を書きました。改善に繋がることを祈っています。

村山村長の返信 (要旨)

議会で中継の不具合に加え、役場HPへの議案書の掲載が行き届いておらず、村民の皆さまへタイムリーな情報提供ができなかった点は大変申し訳なく思っております。

今後は緊急時でも速やかに情報発信が行き届くよう、体制を整えてまいります。

役場という組織のマネジメントや日常業務の進め方、民間・関係団体との連携における課題についても、耳の痛い指摘として真摯に受け止めます。

組織全体の業務効率や正確性、引き継ぎ体制の改善は、トップとして常に疑い、見直し続けなければならない重要な責務だと考えております。

島の未来を思つての率直な提言として受け止め、今後の改善に繋げてまいります。

議会を視聴して

村山村長のブログへの 投稿文書に寄せて

今議会での中継機器の不具合には、さすがに住民から「毎回の事だ。何故修理しないのか。議会では改善を指摘する議員は、誰一人いないのか」と云う声が聴かれています。

村長のブログを「たまに見ている」と云う住民から「柴田さんの投稿文書にある意見はその通りで、今の村政に対する多くの住民の思いと思う。よく言ってくれた。執行部もそうだが、議員たちも報酬が大幅に増えたと聴くし、会議時間の短縮ばかりに頑張らないで、もう少し勉強して住民の話も聞いて、しっかりして欲しい。私は、柴田さんへの風当たりを心配しています。でも応援しています」と話していました。私は「こうした村政の実態は、昨日今日俄かに生じた事では無く、この僅か数年前から起きていた事が、以後時と共に顕著になってきている姿を議会中継などを通して、村内外の人々が知り易くなっていることで、今では村内の住民に留まらず、島外者からも批判的意見が表面化してきている」との認識でいます。

このままの時が流れ行けば投稿文にもあるとおり、議会共々、併せて村政に対する住民の不信感と乖離は日増しに広がり「今の村政は、いつ何時、何事が起きてもおかしくない」と云った、村の行く末に暗雲を招きかねない思いがしています。

住民の皆さんと話をするに「行政職者も議員も公務員と云う自覚をもって欲しい」とか、中には「村長は返事だけいいが、口先だけではないのか？」と云った、疑心暗鬼の声もありました。

私は、村も議員も真摯に受け止めて頂いて、総括して改革に努めて欲しいと思っています。特に議会には、この際「議案審議には、充実した議論が出来る運営に尽力されたい」と思います。

寿一